



## ふたごはなかよし

### ふたりのロッテ

エーリヒ・ケストナー 作 池田 香代子 訳 岩波書店 943-ケ

ゼービュールの子どもこの家に、ウィーンからルイーゼがやってきました。そして、ミュンヘンからロッテがやってきました。ふたりは初対面しよたいめんですが、そっくりでした。そして、誕生日たんじょうびと生まれた場所うが同じことがわかり、ふたごであるしと知ります。ロッテとルイーゼは、服も髪型ふく かみがたもとりかえて、そっくりいれかわってうちに帰るといかえう冒険ぼうけんを考かんがえました。

### ジミーとジャネット、ふたりはふたご

B. クリアリー 作 いとい しげさと 訳 あかね書房 933-ク

ジミーとジャネットはふたごですが、好きなものはおなじではありません。ジャネットは、おしばいごっこすみたいなことが好きですが、ジミーは、おとなのつかっている本物ほんものが好きです。ある朝あさ、ジミーは庭にわのすみっこで穴あなをほりはじめましたが、おもちゃのシャベルはこわれてしまいます。おとうさんは、ジミーのせたけよりも大きな本物ほんもののスコップをもってきてくれました。

### しおちゃんとしょうちゃん

ルース・エインズワース さく こうもと さちこ やく・え 福音館書店 E-コ

あるところに、しおちゃんとしょうちゃんという、ふたごのこねこがいました。にひきは、なにをやるのもいっしょです。あるひ、しおちゃんはしょうちゃんに、「おまえよりたかいところにのぼれるよ」といいました。しょうちゃんも、「ぼくのほうがもっとたかいところにのぼれるよ」といいます。にひきは、いっぽんのたかいもみのきをみつけてのぼりはじめました。

### ふたごの兄弟の物語 上・下

トンケ・ドラフト 作 西村 由美 訳 岩波書店 949-ド

ラウレンゾーとジャコモは、二ふたしずくのみず水のようにそっくりでした。ある日お父ひさんは、二人ふたにもうすぐ七歳ななさいになるから学校がっこうに行きなさいと言いいます。その夜、兄弟よるは長いあいだ話ながをしました。そして、ラウレンゾーとジャコモが代わりばんこかに学校がっこうへ行く計けい画かくを立てたました。

## ふたごのカウボーイ

フローレンス・スロボドキン 文 小宮 由 訳 瑞雲舎 933-ス

ふたごの男の子のネッドとドニーは、にわでカウボーイごっこをするのが大好きでした。ある日、ドニーはカウボーイのスティープに、ネッドはカウボーイのジムになって、おたずねものやどうぶつを見つけに行くことにします。ふたりは、にわからとおりにへでてしばらくあるき、商店街につきました。

## ピクルスとふたごのいもうと

小風 さち 文 福音館書店 913-コ

いのぶたのおとこのピクルスに、ムギとコムギという名前なまえのふたごのいもうとができました。ふたりがあんまりにてるので、お父さんとうもピクルスも見わけることができません。はっきりとちがうところは、おへソのかたちです。お母さんかあだけはおへソをしらべなくても、見わけることができました。

## ふたごのゴリラ

ふしはら のじこ 文・絵 福音館書店 E-フ

アフリカのおおきなもりに、ゴリラたちがすんでいます。あるあさ、マパとパサというふたごのあかちゃんがうまれました。マパとパサは、なかよくおおきくなっていきました。あるひ、マパがみつけたきいちごを、パサがとりあげてにげだしました。マパはパサをおいかけ、どんどんはしって、とてもとおくまできてしまいました。

「こどもしんぶん」しょうかいで紹介している本は

加古川市立中央図書館 ☎ (425-5200)

加古川市立加古川図書館 ☎ (422-3471)

加古川ウェルネスパーク図書館 ☎ (433-1122)

加古川海洋文化センター図書室 ☎ (436-0940)

にあります

